

# 図 書 出 版 物 情 報

福井医科大学附属図書館  
 (現、大阪大学附属図書館中之島分館)  
 岩 本 博

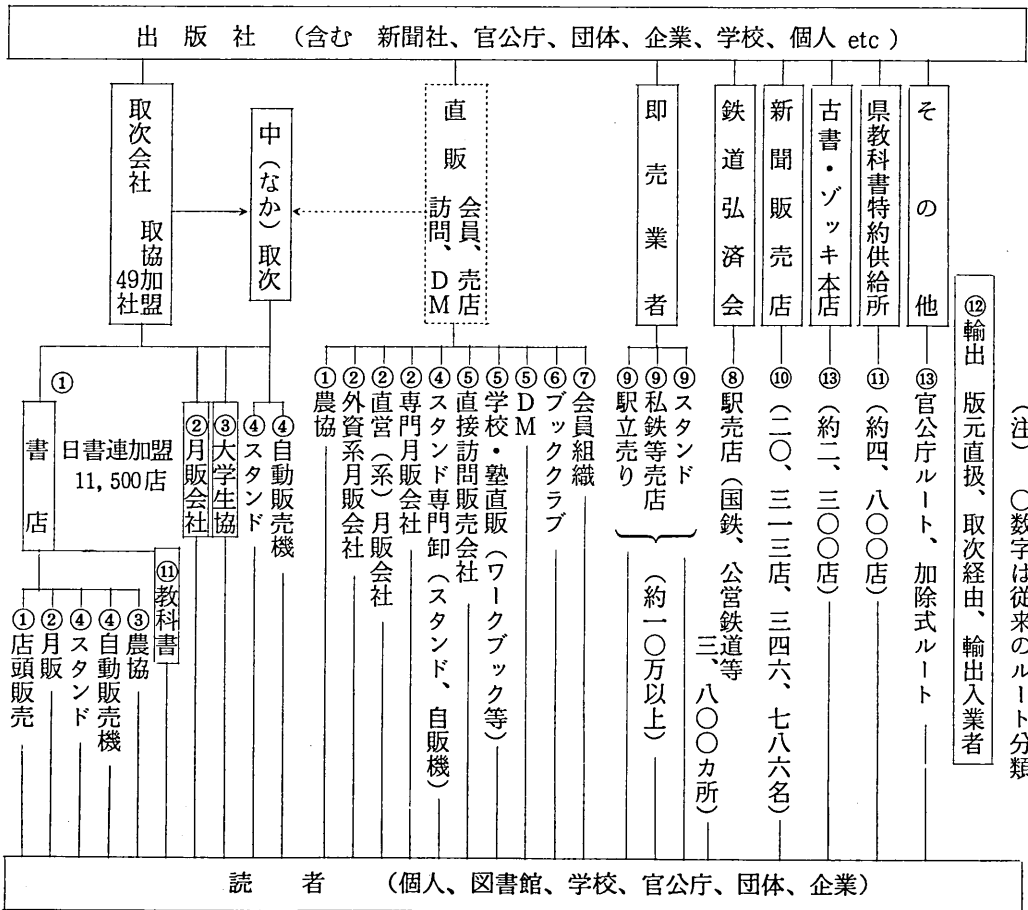
## 1. はじめに

図書館にとって出版物は命の糧(かて)です。今日、全世界で生産される出版物は天文学的数字に近いといえます。我国の場合、市

場に出回る商業出版物だけをとりあげても昭和58年で12億189万冊、2兆1,847億4,800万円の流通額となり、新たに刊行された新刊点数は31,297点、前年比4.2%増となっ

我が国における出版物の流通経路

出典：「出版業界」(産業界シリーズNd 144)



ています。これが全世界的となると……。もうよしましょう。考えるだけでも気が遠くなりそうです。

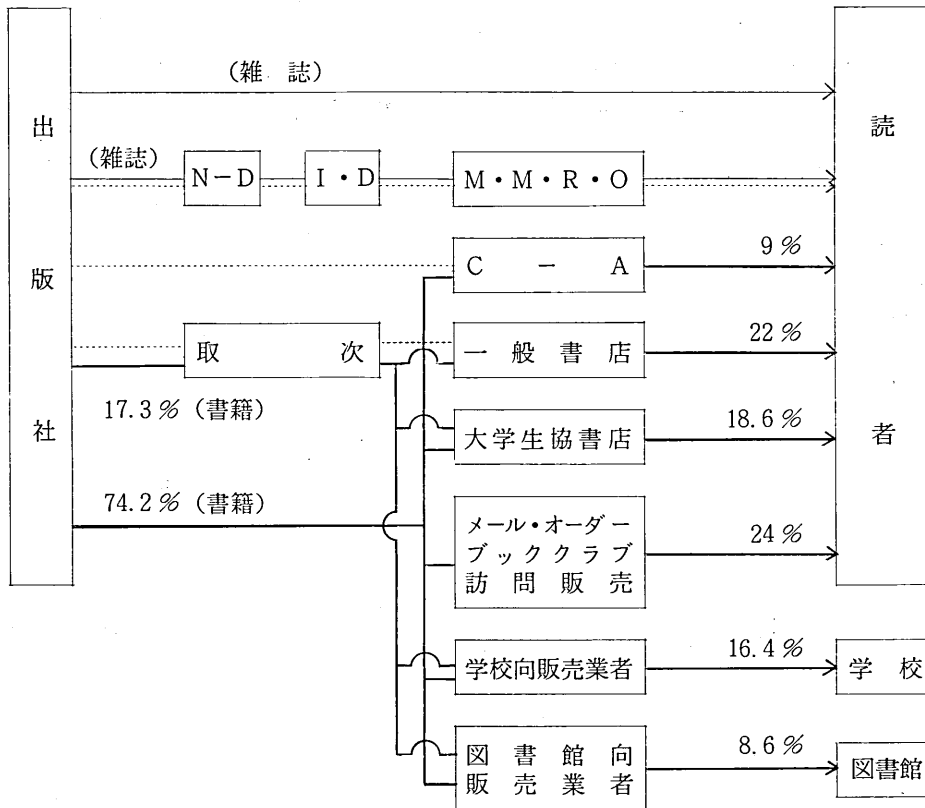
医学出版物は、全出版物から比べるとその量は小さいと見えますが、人文・社会科学系図書とは若干、趣きを異にしています。

今日は、「医学出版物情報」を本論にして

述べますが、出版“物”情報に限定しますと、現に流通しているもののみで限定されてしまうため、ここでは、これから出版される近刊情報、すなわち、出版予告情報も含めて中広く「出版情報」全般について述べていくことにいたします。

### 米国における出版物の流通経路

(出典：「アメリカの書店業界」)



— 雑誌

----- ペーパーボックス (マスマーケット)

— 書籍

数字は書籍の流通割合 (パーセント)

N-D: ナショナル・ディストリビューター

I-D: インデペンデント・ディストリビューター

M・M・R・O: マスマーチャント・リテイル・アウトレット (スタンド・ドラッグストア等)

C-A: チェーン・アカウント (デパート・スーパー等)

## 2. 出版物流通機構の理解

一般に、出版物が出版元からエンドユーザ、例えば、図書館（室）に渡るまでには実に複雑多岐な流通経路をえています。

### 1) 我が国の場合

我が国における出版物の流通経路については、次の第3章においてくわしく述べることにします。

### 2) 外国、特に米国の場合

米国における出版流通経路も日本の場合に優るとも劣らないくらい多岐に渡っています。この場合、日本と若干異なりますことは、すべての出版物を一括して取次する機構が欠けていることです。

米国の場合、出版物は図書、雑誌、大衆向け廉価本（ペーパーバック）の3つに大別されますが、ペーパーバックが全出版物の中で最も大きい販売シェアをえています。また、我が国でいうところの書店のシェアは22%にすぎず、学校・図書館向け専門業者、ブッククラブ等が力をもっているのも我が国の場合と異なるところです。

ここでの第1の特徴は、取次を経由する出版物の比重が全体の17%強にすぎないことです。そして、それに反して、出版元からエンドユーザに直結する直販ルートの比重が大きいことです。さらに、第3の特徴は、一般小売店の比重が小さいということ。第4の特徴として大学売店の比重が大きいこと（18%強）そして、第5の特徴は、学校、図書館向販売の比重の大きいこと（25%）です。

その他、特筆すべきこととして、我が国の場合と異って、再販制がないにもかかわらず、新刊書は定価販売が徹底していることと、反対にバーゲンブックの流通システムが発達していることです。

## 3. 出版物の流通経路

手元に、「昭和58年度書籍雑誌流通経路区分による実販売額」と称する資料があります

ので、この中から、我国における最近の出版物の流通経路を分析してみたいと思います。

まず、通常、我々に最もなじみ深い「書店（正常）ルート」と呼ばれる一般小売書店を経由する出版物が全出版物流通量の53.9%しかないことに驚きます。それもそのはずで、よく見掛けることですが、最近では街のたばこ屋さんの店先から、ドライクリーニング、あるいは宅急便の仲介をしているお店屋さん、さらに24時間営業のコンビニエンスストアに自動販売機といった至る所で週刊誌、コミック本等が販売されるようになり、販売形態の多様化が目立っています。その分、一般の書店経由が少なくなるのは当然といっているのかもしれませんが、我々、読者にとっては、わざわざ本屋さんまで向く必要もなくなり、それだけ便利になったともいえるわけですが、圧迫を受ける本屋さんは生き残り（サバイバル）戦争といえますか、競争に大変なことと思います。

現在、我国の出版流通上には年間12億7,400万冊の図書と週刊誌、月刊誌、合せて35億659万冊の雑誌（昭和58年度）が流通しているわけですが、この半分強がいわゆる書店ルート（出版社→取次会社→書店→読者・図書館）であります。後の半分といえますか、このほかのものがそれ以外の出版流通ルートになりますが、この中で、数年、急速に増えてきているのが直販ルート（個々の読者にDMやセールスマンの訪問によって直接販売する。）と呼ばれているもので、全体の25.7%、 $\frac{1}{4}$ 強を占めています。つづいて、教科書ルート（出版社→都道府県の教科書供給所→販売を委託された書店→小中高校児童・生徒）が3.32%、さらに日販（割販）ルート2.6%、スタンド販売・自動販売機ルート2.74%、私鉄駅売店を中心とした新聞社系の卸売ルート2.99%と続きます。そして、ユニークなもの一つに、一度にらまれたら雑誌の販売量が半減し、ついには廃刊のうきめにも……といわれるエロ

グロ・ナンセンスを販売しない“良識ルート”の異名をとる、通称、キオスク：鉄道弘済会ルート2.44%があります。その他では、輸出入ルート1.21%も見落せないといえます。こういったところが我々によく知られている一般的な書籍流通ルートです。

出版物流通ルートの多様化はそれ自体、我々読者にとっては、一見、より有効な方向を示しているといえなくもありませんが、その半面、直販ルートの拡大は、我々読者サイドの購入選択巾をせばめ、あるいは、図書館(室)にとっては値引が困難になったり、期待できなくなるなど、極めて影響の大きな問題であるかと思えます。

#### 4. 出版情報の種類

出版物の流通と同時に、先行あるいは後追いで出版情報が流通していきます。

##### 1) 刊行時期を基準にすると

出版情報をその刊行の鮮度により区分すると次の3つに分類できます。

- ①近刊情報
- ②新刊情報
- ③既刊情報

##### a. 近刊情報

近刊情報とは、まだ出版されていない出版物を案内する情報で、出版予告情報とも呼ばれています。

近刊情報の特徴は出版物がまだ出版されていないために、内容や価格が不正確であったり、極端な場合は予告だけで出版されずに終る出版物も少なくありません。

##### b. 新刊情報

新刊情報は、実際に刊行されてまだ日の浅い出版物を案内する出版情報であり、近刊情報に比べると内容、価格とも、正確といえます。

新刊情報は、一般に速報性が重視され、週刊(まれに日刊)隔週刊、あるいは月刊で刊行されるものが多くなっています。

##### c. 既刊情報

既刊情報は実際に出版されてから日数を経た出版物をまとめて記録した出版物で、主に記録性、網羅性等を目的として刊行されています。

既刊情報はその性質から、個々の出版元から刊行されるものは、大手の出版社や特殊な出版物を出版している出版社から刊行される一部の出版情報のほかは少なく、特定の出版団体や取次代理店等から刊行されるものが多くなっています。

##### d. 私の経験から

私が経験した中で出版情報に関する実例について、いくつかを紹介してみたいと思います。

まず、近刊情報ですが、ある時、アメリカのある大手の出版社から郵送されてきたダイレクトメールによって、さっそく3巻ものある参考図書を出入りの書店(取次代理店)に発注しました。だいぶたって、書店から図書が入ってきたとの連絡を受けましたが、書店が何か奥歯に物が引っ掛かっているかのようにはいにくそうにしているので何かと思ったら、近刊で刊行が案内されたものの、実は今回刊行されたものは、かってから刊行されている3巻ものの第1巻のみで他は改版の見込みもないという。ところが、図書は3冊入ってきたので引取ってほしいという。どうもよく合点がいかないのでよくよく聞いてみたら、第1巻は確かに新刊されたものであるが、他の2巻は旧版が送られてきたという。

まあ、このようなことは、欧米の出版社ではよくあることで、べつに悪気があってやっているわけではないと思われませんが、我々にとってほしいのは今回改版された、すなわち、近刊で案内された図書であるわけです。しかし、出版社にしてみればこの図書は3巻で1セットなのであって、新版か旧版かはあまり重要でないのかもしれませんが。

とはいっても、このようなことはまず、日

本の図書館：書店：出版社の関係の中では起りえないだろうし、たぶん、出版社ないし取次からあらためて照会がくるはずです。仮にあったとしても、即、いらぬものは返本になるはずです。

この例で示したものは、出版社が海の向こうの外国のことでもありますし、たぶん、結果的には図書館か書店のいずれかが泣くことになるはずです。実を言いますと、これで泣いたのは私：図書館のほうです。と言いますのも、図書館と書店の関係は今に始まったものではないからです。百年を考へての関係です。書店を泣かすことはいかにも簡単なことですが、それでは図書館と書店の信頼関係が崩れてしまいます。よくいえば、図書館の予算に余裕があったからだろうといわれなくもありませんが、実は、ここが図書と一般の物品の購入とのちがいと云えます。この例では、私が出版社からのダイレクトメールを好意的に見すぎ、なおかつ、書店がそれを見破れなかったことによる複合的ミスから始まったのですが、受入の現場では比較的好くあることと云えます。

近刊情報はあくまでもこれから出版されるという未刊の情報であることを肝に命じることが必要です。

話が少し横にそれた感がありますが、次に新刊情報になりますと、これは実際に図書が既に出版されているわけですから、トラブルは極めて少なくなります。しいて上げれば、出版された図書が思いもかけずよく売れすぎて、在庫がなくなってしまった場合ぐらいです。といっても、我々が扱うのは専門書が大半ですからこのようなことはあまり起りえないことですが、最近のことでは、確か、Merck Index の改版の時にあったように記憶しています。

既刊情報では本来在庫があることを前提にカタログが作成されますが、言いかえれば、イコール在庫情報とも言えるわけです。この

場合、既刊情報に収録されている在庫は特別のことがないかぎり、次々に減るわけですから、カタログを見て発注したら、品切れだったということは十分ありうるわけで、出来たてはやほやのカタログを手にしなが、図書館の受入担当者がぶりぶりして、書店がただただ平身低頭しているというのも珍しい光景ではありません。

## 2) 資料形態を基準にすると

出版情報とその出版流通の段階において輪切りにすると、1) に示した近刊・新刊・既刊情報といった形態になりますが、実際には我々の図書館の現場に馴染の深い図書、雑誌、あるいは視聴覚資料、政府刊行物、会議資料といったいろいろな資料形態が先行し、そのなかで、それぞれの資料について近刊・新刊・既刊情報があるのが一般的です。

## 3) その他の区分では

出版情報としてはあまり一般的なものとは言えませんが、購入できる資料と購入できない資料という区分もおもしろいといえます。

## 5. 図書の出版情報

### 1) 近刊情報

図書の出版情報の内、まず、近刊情報の代表的なものとしては、欧米の出版社からはダイレクトメールが一般的です。もちろん、出版社のあるその国の国内では、日刊、週刊単位の出版情報が刊行されていると思いますが、日本に送られてくるまでに時間がかかりすぎて近刊の出版情報としては価値をなくしてしまうため、一般的でないわけです。

日本の図書の近刊情報としては、日本書籍出版協会が刊行する「これから出る本」がよく知られています。この小冊子は週3回刊行されていて、内容が分野別に収録されているほか、医学書も大変よく収録されているのが特徴的です。また、これは書店の店頭で山積され、「ご自由にお取りください。」となっていたり、あるいは書店がきたときにただで

いていってくれたり図書館にとっては大変ありがたいものでもあります。

## 2) 新刊情報

まず、洋書の新刊情報として、欧米の代表的なものに「N. L. M. Current Catalog Proof Sheets」があげられます。この資料は米国の国立医学図書館が週刊で刊行しているもので、書誌事項も完璧なものです。

日本で刊行されているものでは、我が国を代表する二大情報産業としてよく知られる丸善と紀伊国屋書店から出されている「丸善新刊書ご案内」,[Announcement of Forth-Coming & New Books]があります。いずれも各月4分冊で出され、Dシリーズが医学セッションとなっています。

国内の新刊情報としては、東販が刊行する「新刊図書目録」(月刊)や日販の「ウィークリー出版情報」(週刊)が手に入れやすいですが、医学書の収録が意外に少なく、あまり役に立つとはいえません。文庫本や推理小説の新刊書を探すのには大変便利なんです…。医学書の新刊書がまとめて収録されているものでは、医歯薬出版が刊行する「医学のあゆみ」の号中に各月1回、「今月の新刊」として紹介されるものが便利といえます。このほか、出版ニュース社が刊行する「出版年鑑」に収録される出版情報の基礎となっている「出版ニュース」(旬刊)の号末に収録される新刊情報が大変よく充実しています。

## 3) 既刊情報

図書の既刊情報はその刊行の目的により次の2つに大きく区分されます。

### ①販売情報

### ②書誌情報

#### a. 販売情報

これは文字通り、販売を目的とした出版情報で、その前提は在庫情報でもあります。

医学分野の販売情報としては医学書院から季刊で刊行される「医学書総目録」と日本医書出版協会から年刊で刊行される同名のものがよ

く知られています。前者は3ヶ月ごとに改訂され、しかも、専門書4,000冊と収録されている図書と出版社の数が多く、その点では我が国で刊行される医学書のほとんどすべてを網羅しているといえますが、反面、配列が系統的でなく、また、詳しくすぎて索引で探せないものがでてくるといった不便さがあります。後者の場合では収録されている出版社が同協会に加盟している20の出版社に限られていますので、見易いのですが網羅性に欠けます。一般の先生方がパッ！と見るには後者が、我々図書館員が見るには前者がいいでしょう。

洋書の販売情報では丸善、医学書院、南江堂等の取次書店の刊行する「FOREIGN MEDICAL BOOKS」等の目録があります。

#### b. 書誌情報

書誌情報は図書の記録性を目的とした目録で販売情報とは目的を異にしますが、内容は原則として在庫情報でもあります。したがって、絶版になったものは収録されないのが一般的ですが、確実性はありません。

「出版年鑑」(出版ニュース社)は古くからよく知られている書誌情報誌です。最近、刊行されたものでは年刊、3巻もので刊行されている「日本書籍総目録」(日本書籍出版協会)や変わったものでは18巻ものの「日本件名図書目録1977-1984」(日外アソシエーツ)があります。また、あらゆる出版物を収録しているものでは国立国会図書館が週刊、年刊で刊行している「日本全国書誌」がありますが、タイムラグが大きく、あまり実用的ではありません。しかし、政府刊行物等の非売品の資料を探すには最適の書誌情報誌です。

洋書では「N. L. M. Current Catalog」(四季版、年刊版)が書誌事項もよく充実していて最適です。ほかに、Bowker社の刊行する「Books in Print」(6 Vols.)「MEDICAL BOOKS AND SERIALS IN PRINT」(2 Vols.)があります。詳細すぎて見にくいのが難点です。

書誌情報は扱う情報が多いため、「出版年鑑」を除き、病院図書室のような小規模図書室向きの資料ではなく、大学図書館向きの資料といえます。書誌情報を必要とする時はよりの大学図書館へレファレンスを依頼するのが無難でしょう。

## 6. 雑誌の出版情報

医学図書館（室）の資料の主体を占めているのは学術雑誌です。学術雑誌の出版情報の内、近刊情報は一般には創刊誌情報と呼ばれています。

また、新刊・既刊雑誌情報は図書の場合と同じように販売を目的としたものと記録性を目的としたものに分けられますが、その内容はだいぶ異なっています。

### 1) 創刊誌情報

医学雑誌の創刊誌情報は図書と同じく、出版元からのダイレクトメールによって知るほか、国内取次代理店からの情報も有益と言えます。

「New Periodicals：外国雑誌創刊目録」、  
「Catalog of New Journals：新刊雑誌カタログ」は紀伊国屋書店、丸善がそれぞれ刊行するもので、分野別に構成され、最新3年分の創刊誌情報が収録されています。

### 2) 新刊・既刊誌情報

#### a. 販売情報

外国雑誌の販売情報としては海外の出版元の刊行する出版カタログのほか、国内の取次代理店の刊行する「Subscription Catalog 外国雑誌カタログ」が内容、書誌事項ともよく充実しています。

また、外国の取次代理店として著名な EBSCO、FAXON、SWETS 等の雑誌カタログは日本のものより総合的で情報量も極めて多いと言えますが、表示されている価格が外貨立てであったり、細かすぎてかえって見づらいたいもいえます。

国内雑誌の販売情報では日販が年刊で刊行

する「雑誌のもくろく」がありますが、これは全くの子供だましと言いましょうか、小冊子で小売書店でお客さんに聞かれてちょっと見るのには役立っても図書館（室）の資料としては心もとないの一語につきます。

#### b. 書誌情報

雑誌の書誌情報はたくさんありすぎて、例をあげるのにこまるほどです。

医学図書館の参考図書で三種の神器と言え、その一つに Bowker 社の刊行する「Ulrich's Internatioanl Periodicals Directory」があげられます。この資料は世界中の欧文雑誌を分野別に収録したもので書誌事項も完璧のもので。また、同社の刊行する「Irregular Serials & Annuals：An International Directory」も重宝します。このほか、前述の「MEDICAL BOOKS AND SERIALS IN PRINT」や「SOURCES OF SERIALS」(Bowker 社) もあれば便利なものです。

国内雑誌では「雑誌新聞総カタログ」が充実しています。この資料は日販が年刊で刊行しているもので、購入雑誌のみならず、学会雑誌、非購入雑誌、会員制雑誌の多くも収録されており、大変便利な資料です。

## 7. 会議資料の出版情報

学術会議の国際化の中で刊行される会議資料も急増の一途をたどっていますが、書誌的コントロールの不完全さがその取扱いを困難なものにしています。

会議資料は実際の会議を境にして、次の2つの種類に分けられます。

### ①会議前の出版情報

### ②会議後の出版情報

#### 1) 会議前の出版情報

いずれの会議においても、その会議が成立するためには会議の主催者による計画から案内の通知、予稿集の配布といったいろいろな手順が必要であり、配布される会議前資料も多岐を極めます。

- ④カレンダー    ⑤プログラム
- ⑥講演要旨    ⑦プレプリント

プレプリントは会議での発表予定論文の全内容を印刷したもので、今日の国際的会議ではあたりまえの配布資料です。しかし、大方の場合、プレプリントは会議の出席者にしか配布されず、一般の図書館（室）では入手がむづかしい資料の一つです。

プレプリントに関する出版情報は皆無に等しいと言えます。わずかに開催される学協会からの何らかの案内によって知るのが唯一と言えます。それも偶然に近いものです。わずかに、政府関係が主催する、あるいは、援助をしている一部の会議では、その会議資料、特にプレプリントが政府刊行物の中に取込まれていることもあります。その発見は容易なことではありません。

会議資料の出版情報が収録されている資料としては、「World Meetings」等がありますが、いずれも断片的なものです。

## 2) 会議後の出版情報

会議終了後、会議において発表された論文、討論内容をまとめた会議資料が出版されます。最近の国際会議ではあらかじめカレンダーに会議資料の出版方法、形態が明記される場合が少なくありませんが、反面、メンバーを限定したセミナー等では会議資料を刊行せずに、講演要旨の配布のみで済ませる場合も多いと言われています。

出版される会議資料には大きく2つの出版形態があります。

- ⑧図書として出版されるもの
- ⑨学術雑誌に収録されるもの

### a. 図書として出版される会議資料の出版情報

図書として出版される会議資料は会議を主催した学協会や商業出版社等のいろいろなところから出版されます。

商業出版社から出版される会議資料は一般図書と同じく各種の出版情報に収録されるた

め、容易に我々の目につきやすいと言えますが、学協会から出版されるものは商業ベースにのりにくいため、その出版情報は一般にとらえにくいものと言えます。

図書として出版される会議資料を専門に検索する資料には「Proceedings in Print」、「Index to Scientific & Technical Proceedings」、「Conference Papers Index」等があげられますが、いずれも特殊な資料だけに大きな医学図書館でも所蔵しているところは少なく、ましてや病院図書室ではとても手に負えないものと言えるかもしれません。

また、図書として出版される会議資料の特殊性として、図書のタイトルが会議名と異なるアトラクティブなタイトルがつけられるため、一見して会議資料と分らないことが多いこと、あるいは、タイムラグが大きく、いつ出版されるか定かでないといったことがあげられます。

### b. 学術雑誌に収録される会議資料の出版情報

学術雑誌に収録される会議資料は雑誌そのものが医学図書館（室）の中核をなす資料だけに容易にとらえやすいといえますが、反面、アトランダムに収録されるため、どの会議資料がどの雑誌に収録されるか容易には検索できなく、なかなかやっかいなものです。

学術雑誌に収録される会議資料を検索するには英国のB. L. L. D. の刊行する「Index to Conference Proceedings Received」が比較的便利ですが、これももよりの医学図書館にあるという資料ではないので、ちょっと見るといっわけにはいかないようです。

## 8. 政府刊行物

一般に政府刊行物といえば、政府が保有する情報、あるいは、生産した情報を指すわけですが、その解釈は情報の公開性ともあいまって、各国間で微妙に食違っています。

例えば、政府刊行物の流通で先駆的な役割



を果たしている米国では、G. P. O. (政府印刷局) と N. T. I. S. (商務省管轄) により、一元的に取扱われるのに対して、我が国の場合には政府の各機関が独自に印刷、刊行し、かつ、配布しているのが現状です。

米国の政府刊行物の出版情報は G. P. O. の「Monthly Catalog」、N. T. I. S. の「Government Reports Announcement & Index」により、大方は知ることが出来ますが、いずれも高価で特殊な資料ですので、総合大学の図書館ぐらいにしか所蔵がなく、一般的ではありません。

我が国の政府刊行物の出版情報は国内出版物の大半が納本される国立国会図書館が刊行する「日本全国書誌」が一番です。ただ、この資料はタイムラグが大きいので、アップ・トゥ・デイトな情報を得るには不向きなところが残念なところです。

都道府県所在地には政府刊行物販売所が設置、または委託されており、利用されると便利です。

### 1) 厚生省特定疾患報告集

日常の図書館活動の中で医学図書館(室)員が扱う政府刊行物と言えば、「厚生省特定疾患報告書」があげられると思います。

この資料は厚生省特定疾患調査研究班が昭和47年度から毎年、出している報告集ですが、医学図書館(室)の現場での需要の多い資料である反面、研究班の構成が入り組み、変遷が多いことと、配布先が限定されていることもあって、なかなか、十分に活用することの出来ない資料と言えます。

ただ、この資料は従来から「日本全国書誌」に収録される他、J. I. C. S. T. の「公共資料ファイル」にも収録されるため、検索は容易になっています。また、調査研究班の構成は毎年、5月頃に「日本医事新報」に発表されますので参考にされると便利かと思います。

### 2) W. H. O. 刊行物

国際機関の一つである W. H. O. 刊行物も政

府刊行物の範囲に入るかと思えます。

W. H. O. が刊行する資料には二種類あり、いずれも市販されるか、無料で配布されます。

W. H. O. 刊行物には「United Nations Documents Index」(月刊)と2年毎に刊行される「W. H. O. Publications Catalogue」があります。また、最新の新刊情報は月刊の「W. H. O. Chronicle」に収録されています。

国内には国立国会図書館を始め、5ヶ所の国連寄託図書館が設置されていますが、W. H. O. 刊行物はほとんどなく、あまり役には立ちません。

## 9. 出版物の識別コード

いままでは各々の出版物についてその出版情報を述べてきましたが、実際に出版物が遅滞なく流通していくためには、その識別が正確に行なわれる必要があります。

一般に出版物の識別は、著者名、書名、出版社等のいわゆる書誌的情報により行われますが、それと並んでこれらをコード化したもの、いわゆる識別コードが一般化しています。

ここでは現在、国際的に通用している3つの識別コードについて概略的に述べてみたいと思います。

### 1) 国際標準図書番号 (ISBN)

ISBNは1960年、A. L. A. の総会において提唱、1967年から使用され、1972年、I. S. O. が制定した国際規格 I. S. O. - 2108 に基く、国際標準図書番号 (International Standard Book Numbering) です。

ISBNは4つの部分、10ケタの数字で構成されています。

ISBN 4-10-137301-9  
A B C D  
A: グループ識別記号  
B: 出版社    "  
C: タイトル   "  
D: チェックタグ "

「秘密の花園」松本隆詩集 (新潮文庫)

### a. グループ識別番号

グループ識別番号は世界を国、地域区分等で分け、出版量の大きいグループには小さいケタ数、反対の場合には大きいケタ数が与えられています。

- 例：0,1…米国、英国、カナダ、オーストリア等  
 2 ……フランス  
 3 ……ドイツ  
 4 ……日本  
 91…スウェーデン

### b. 出版社識別番号

グループ内の出版社に対し、出版量の大きいものには小さいケタ数、小さいものには大きいケタ数を与えます。

例：06…講談社 10…新潮社 334…光文社  
444…Elsevier 87969…Cold Spring Harbor Lab

### c. タイトル識別番号

各出版社は割り当てられたケタ数の範囲内で、その出版物に I S B N を与えます。

I S B N は版次、形態の異なるものには異なる番号を与えられますが、刷りの異なるもの、価格の変更等には与えないことになっています。

## 2) 国際雑誌標準番号 ( I S S N )

I S S N は I. S. O. が承認した国際規格により独立した逐次刊行物に与えられています。

I S S N は次の形式をとります。

I S S N 0021-9258  
(Journal of Biological Chemistry)

この8ケタの数字の内、最終の数字はチェックタグで次の計算式により、計算されます。

$$\begin{array}{r}
 I S S N \quad 0 \ 0 \ 2 \ 1 - 9 \ 2 \ 5 \\
 \quad \quad \times \times \times \quad \times \times \times \\
 \quad \quad 8 \ 7 \ 6 \ 5 \quad 4 \ 3 \ 2 \\
 (0 \times 8) + (0 \times 7) + (2 \times 6) + (1 \times 5) \\
 (9 \times 4) + (2 \times 3) + (5 \times 2) = 69 \\
 69 \div 11 = 6 \quad \text{余り } \underline{3} \\
 11 - 3 = \underline{8}
 \end{array}$$

日本における I S S N のセンターは国立国会図書館が受持っています。また、L C 及び Bowker 社の刊行する目録類に収録される逐次刊行物にはすべて I S S N が割り当てられています。

## 3) CODEN

C O D E N は雑誌及び図書に与えられる識別記号で、1954年、Bishop C. の提唱により始まり、現在は米国の A. S. T. M. 規格の一つになっています。雑誌の CODEN はアルファベット6文字で構成されています。

C A N C A R (Cancer)

A B C

A : …雑誌タイトルの最初の主要語の頭文字をとる。

B : …雑誌タイトルの主要語から1~2文字をとる。

1975年以降、CODENの割り当て業務は、すべて C A S (Chemical Abstracts Services) で行われています。

## 10. おわりに

我々が普段、扱う出版情報にはここで取上げましたもののほかにも、一般にグレイ・リテラチャー (灰色文献) と呼んでいますテクニカルレポート、学位論文、企業文献あるいは一部の紀要等があげられますが、日常の図書館業務の中で取扱うことは極めて少ないため、省略しました。

私が現場の図書館員として経験しました過去、10数年間の中で、出版情報について考えてみますと、我が国の取次代理店、書店あるいはいろいろな出版団体から刊行されます各種の出版情報は国際的にも見劣りしない極めてレベルの高いものが少なくありません。

特に最近ではエンドユーザーへのサービスから、

かゆいところにも手がとどいた内容的にもデザイン的にも優れたものが次から次へと刊行されていっています。

毎月、出入の書店さんから届られる Announcement を手にして、ざぁーとブラウジングするだけでも、ずいぶんと知識が豊富になって

くるものです。

書店さんと良い意味で懇意になる。……これがいつか、血となり、肉となってお役に立つことと思います。

本日はご静聴ありがとうございました。

## 資 料

### 1. 圖書の出版情報

①近刊情報：出版社からのダイレクトメール、予約特価の案内

②新刊情報：

- a. NLM Current Catalog Proof Sheets. (週刊) NLM
- b. Announcement of Forth-Coming & New Books D：医学・歯学・薬学 (月刊) 紀伊国屋書店
- c. 丸善新刊洋書ご案内D：Medical Sciences (月刊) 丸善
- d. NANKODO BOOK BULLETIN (隔月刊) 南江堂
- e. Medical Book News (月刊) 医学書院
- f. 医学のあゆみ：今月の新刊 (月1回) 医歯薬出版
- g. 新刊図書目録 (月刊) 東販
- h. ウィークリー出版情報 (週刊) 日販
- i. 出版ニュース (旬刊) 出版ニュース社
- j. 雑誌に掲載される Book Reviews

③既刊情報：

(販売情報)

- a. FOREIGN MEDICAL BOOKS：医学洋書在庫一覧表 (年刊) 医学書院
- b. MEDICAL BOOKS 新刊・在庫 (半年刊) 丸善
- c. 医学書総目録 (季刊) 医学書院
- d. 医学書総目録 (年刊) 日本医書出版協会
- e. 大学教科用図書目録 (年刊) 高等教科書協会
- f. 医学・薬学・獣医学参考図書目録 紀伊国屋書店
- g. 各出版社のカタログ (書誌情報)
- a. BOOKS IN PRINT 1982-1983 3 vols. Bowker Co.

b. MEDICAL BOOKS AND SERIALS IN PRINT 1984 2 vols. Bowker Co.

c. 日本全国書誌 週刊版、年刊版、国立国会図書館

d. 洋書速報 (半月刊) 国立国会図書館

e. 日本書籍総目録 1984 3 vols. 日本書籍出版協会

f. 出版年鑑 1984 出版ニュース社

g. 日本件名図書目録 1977-1984 18 vols. 昭和58年 日外アソシエーツ

h. NLM CURRENT CATALOG Annual, Quarterly NLM

i. 日本の参考図書 (季刊) 日本図書館協会

j. 図書館に備えてほしい新刊図書目録 日本図書館協会

k. 重要文献目録 第7分冊：理工・医学 紀伊国屋書店

l. 海外主要二次資料・参考資料解題 丸善

m. 重要基本文献御選定用資料 丸善

n. '83科学と技術の本 20,000点ブックフェア 東販

o. 年度末用在庫目録 ビー・アイ・シー (所在情報)

a. 医学洋書総合目録 日本医学図書館協会

b. 新収洋書総合目録 国立国会図書館 (紀伊国屋書店)

c. 国立国会図書館蔵書目録 昭23-33年、昭34-43年、昭44-51年 国立国会図書館

④古書：

a. 日本学術資料総目録 2 vols. 朝日出版社

b. 古書店のカタログ

c. 医学古書目録 日本医学文化保存会

⑤リプリント版：

a. BOOKS on DEMAND, International ed. Author Guide 1983. UMI

- b. 1983 REPRINTS, Imported University Textbooks & References リプリント・輸入大学テキスト及リファレンス・著者・書名索引付 トッパン

⑥絶版書：？

## 2. 雑誌の出版情報

### ①創刊誌情報

- a. NEW PERIODICALS 1984: 外国雑誌創刊目録 紀伊国屋書店
- b. Catalog of New Journals : 新刊外国雑誌カタログ 1982 - 1985 丸善

### ②既刊誌情報

(販売情報)

- a. SUBSCRIPTION CATALOG 1984 外国雑誌カタログ 北尾書籍貿易
- b. SUBSCRIPTION CATALOG 1984 外国雑誌総合目録 紀伊国屋書店
- c. SUBSCRIPTION CATALOG 1984 外国雑誌カタログ 丸善
- d. 雑誌のもくろく 1984年版 日販
- e. BIO - MEDICIN SERIAL Publications 1981 洋書医学継続出版物目録 丸善
- f. 各出版社のカタログ

(書誌情報)

- a. MEDICAL BOOKS AND SERIALS IN PRINT 1984 Bowker Co.
- b. SOURCES OF SERIALS 2nd ed. Bowker Co.
- c. ULRICH'S INTERNATIONAL PERIODICALS DIRECTORY 21 ed. 1982 Bowker Co.
- d. IRREGULAR SERIALS & ANNUALS An International Directory 8th ed. 1983 Bowker Co.
- e. INDEX OF NLM SERIAL TITLES 4th ed. 1981 2vols. NLM
- f. LIST OF JOURNALS INDEXED in INDEX MEDICUS 1984 NLM
- g. Excerpta Medica List of Journa-

ls Abstracted 1982 EM

- h. 雑誌新聞総カタログ 1984年版 メディカル・リサーチ・センター

i. 専門新聞要覧 昭和59年版 日本専門新聞協会

j. JOURNALS in TRANSLATION BLLD

k. FAXON 1983 Librarians Guide. FAXON Co.

(所在情報)

a. 現行医学雑誌所在目録 1984 日本医学図書館協会

b. 学術雑誌総合目録 自然科学欧文編 2 vols. 紀伊国屋書店

c. 学術雑誌総合目録 人文科学欧文編 2 vols. 紀伊国屋書店

d. 国立国会図書館所蔵 欧文雑誌目録 紀伊国屋書店

e. 国立国会図書館所蔵 和雑誌目録 紀伊国屋書店

f. J I C S T 資料所蔵目録 2 vols. 日本科学技術情報センター

g. Current Serials Received 1982 B L L D

h. CASSI 1982 2 vols. CA Service

i. 日本科学技術関係逐次刊行物目録 1979年版 紀伊国屋書店

(選択情報)

a. CORE JOURNALS BY SUBJECT 1984 分野別基本雑誌目録

-自然科学・工学・医学編- 紀伊国屋書店

### ③内容(到着)情報:

a. CURRENT CONTENTS Life Sciences (週刊) ISI

### ④非購入雑誌、特定業界雑誌、紀要等の出版情報:

a. MEDICAL BOOKS AND SERIALS IN PRINT 1984 Bowker Co.

b. SOURCES OF SERIALS 2nd ed.

- Bower Co.
- c. ULRICH'S INTERNATIONAL PERIODICALS DIRECTORY 21 ed. 1982 Bowker Co.
- d. IRREGULAR SERIALS & ANNUALS An International Directory 8th ed. 1983 Bowker Co.
- f. FAXON 1983 Librarians Guide. FAXON Co.
- e. 雑誌新聞総カタログ 1984年版 メディカル・リサーチ・センター
- g. 日本科学技術関係逐次刊行物目録 1979年版 紀伊国屋書店
- ⑤廃刊・休刊雑誌：
- a. IRREGULAR SERIALS & ANNUALS An International Directory 8th ed. 1983 Bowker Co.
- ⑥バックナンバー
- a. バックナンバー取扱い書店のカタログ
3. 会議資料の出版情報
- ①会議前の出版情報：
- a. 学会案内：国内・国外医学関係諸学会 1984 (医学のあゆみ、別冊) 医歯薬出版
- b. INTERNATIONAL CONGRESS CALENDAR 22th ed. 1982
- c. WORLD MEETINGS：Medicine (季刊) Macmillan Pub.
- d. 医学会議情報 (年4回?) 全観会議センター
- e. 学術関係国際会議一覧 1984 日本学術会議
- f. わが国で開催予定の国際会議一覧表 国際観光振興会
- ②会議後の出版情報：
- (販売情報)
- a. Standing Order Service on WORLD PUBLISHED PROCEEDINGS 生物・医学、丸善
- (書誌情報)
- a. DIRECTORY OF PUBLISHED PROCEEDINGS：Series SEMT - Science, Engineering, Medicine and Technology (年10回) INTERDOC Co.
- b. PROCEEDINGS IN PRINT (隔月刊) Proceeding in Print, Inc.
- c. Index to Scientific & Technical Proceedings (月刊) ISI
- d. Conference Papers Index (月刊) Data Courier Inc.
- e. 海外科学技術資料月報 国立国会図書館 (所在情報)
- a. 国立国会図書館所蔵科学技術関係欧文会議録目録 1948 - 1969、1970 - 1976、1977 - 1981 紀伊国屋書店
- b. J I C S T 資料所蔵目録 2 vols. 日本科学技術情報センター
- c. Index of Conference Proceedings Received 1983 BLLD
4. 視聴覚資料の出版情報
- ①新刊・既刊情報：
- a. N H K 映像・録音教材 1983 総合カタログ N H K サービスセンター
- b. 取次書店、出版社のカタログ A V C C、エモリー大学・医学ビデオライブラリー (丸善) 視聴覚教育のための医学映像ライブラリー (医学映像教育センター) HESCO AV NEWS (ヘスコインターナショナル)
- c. NLM AUDIOVISUALS CATALOG 1983 NLM
- d. THE VIDEO SOURCE BOOK 3rd ed. NATIONAL VIDEO CLEARINGHOUSE, INC.
- e. T V 医学研究講座フィルム・ビデオライブラリー解説目録 フジサワ薬品

- f. 日本医師会フィルムライブラリー 昭和59年版 日本医師会
- g. 国立民族学博物館映像音響資料目録  
国立民族学博物館情報管理施設
- h. 各大学図書館の視聴覚資料目録

## 5. 政府刊行物の出版情報

### ①新刊情報：

- a. WEEKLY GOVERNMENT ABSTRACTS (週刊) NTIS
- b. GOVERNMENT REPORTS ANNOUNCEMENTS AND INDEX (隔月刊) NTIS
- c. 政府刊行物月報 大蔵省印刷局
- d. 月刊政府刊行物 全国官報販売協同組合

### ②既刊情報：

- a. GOVERNMENT REPORTS ANNOUNCEMENTS AND INDEX (隔月刊) NTIS
- b. 政府刊行物等総合目録 1983年版  
全国官報販売協同組合
- c. 海外科学技術資料月報 国立国会図書館
- d. 洋書速報 (半月刊) 国立国会図書館

### ③書誌・所在情報：

- a. ADレポート所蔵目録 第1巻～第6巻 紀伊国屋書店
- b. PBレポート所蔵目録 第1巻～第6巻 紀伊国屋書店
- c. JICST資料所蔵目録 2 vols. 日本科学技術情報センター

## 6. 国際機関、外国機関の出版情報

### ①既刊情報：

- a. 各国際機関等のカタログ：  
(WHO Publications catalogue 1947 - 1979. suppl. 1980 - 1983. WHO)
- b. 海外科学技術資料月報 国立国会図書館

### ②書誌情報：

- a. INTERNATIONAL RESEARCH CENTERS DIRECTORY 1984 2nd ed. Gale Res. Co.
- b. THE INTERNATIONAL FOUNDATION DIRECTORY. EUROPA PUB.
- c. GOVERNMENT RESEARCH CENTERS DIRECTORY 2nd ed. Gale Res. Co.

## 7. 地方自治体の出版情報

### ①既刊・書誌情報：

- a. 日本全国書誌 週刊版、年刊版、国立国会図書館

## 8. 大学、団体、企業、研究機関等の出版情報

### ①既刊情報：

- a. 日本全国書誌 週刊版、年刊版 国立国会図書館
- b. シンクタンク年報 1981 - 1982 総合研究開発機構

### ②書誌情報：

- a. RESEARCH CENTERS DIRECTORY 7th ed. Gale Res. Co.
- b. DIRECTORY OF SELECTED SCIENTIFIC INSTITUTIONS IN MAINLAND CHINA. SURVEYS & RESEARCH Co.
- c. INTERNATIONAL HANDBOOK OF UNIVERSITY. Macmillan Pub.
- d. Medical and Health Information Directory 2nd ed. Gale Res. Co.
- e. 専門情報機関総覧 1979 専門図書館協議会
- f. 全国試験研究機関名鑑 1981～1982 年度版 ラテイス

## 9. 学協会、研究会等の出版情報

### ①新刊・既刊情報：

- a. NLM Current Catalog Proof Sh-

- eets. (週刊) NLM
- b. 日本全国書誌 週刊版、年刊版 国立国会図書館
- c. 海外科学技術資料月報 国立国会図書館
- d. 雑誌に掲載 ?
- ②書誌情報：
- a. ASSOCIATIONS PUBLICATIONS IN PRINT 1982 2 vols. Bowker Co.
- b. ENCYCLOPEDIA OF ASSOCIATIONS 17th ed. 1983 3 vols. GA-Gale Res. Co.
- c. 全国学協会総覧 昭和56年 日本学術会議
- d. 医学会便覧 昭和59年版 カネボウ薬品
- e. '83 医学研究録ミクス
10. 統計資料の出版情報
- ①新刊・既刊情報：
- a. NLM Current Catalog Proof Sheets. (週刊) NLM
- b. 日本全国書誌 週刊版、年刊版 国立国会図書館
- ②書誌情報：
- a. 医療保健衛生環境統計索引 日外アソシエーツ
- b. 統計利用ガイドブック 日外アソシエーツ
- c. 統計情報総索引 昭和56年版 総理府統計局
11. 学位論文の出版情報
- ①既刊・書誌情報：
- a. DISSERTATION ABSTRACTS INTERNATIONAL. UMI
- Sec. A: Humanities and social sciences. (月刊)
- Sec. B: Science and engineering. (月刊)
- Sec. C: European abstracts. (季刊)
- b. 海外科学技術資料月報 国立国会図書館
- c. '83 医学研究録 ミクス